

自治体病院比較経営

基礎データの抽出



各指標の数値算出



各指標の評点当てはめ
(診断表評価スケール)

現況指標

(客観的な経営状況を診断する指標)

例)

経常収支比率 103.3%
評価スケール (P-140)
全国平均値 96.1%
標準偏差 7.4

偏差値 (i) の算出

(参照 P 128 ~ 129、148)

$$(i) = \frac{(103.3) - (96.1)}{1 / 10 \times \text{標準偏差} (7.4)} = 9.7$$

参照 P - 149
偏差値の分布 $+10 > i \geq 0$
87~546位の間に位置する

状況変動指標

(経営状況の傾向を診断する指標)

例)

経常収支比率
平成15年度 100.8%
平成16年度 103.3%

変化率 (i) の算出

(参照 P 129 ~ 130)

$$(i) = 103.3 - 100.8 = 2.5$$

参照 P - 150
 $1 \geq 2.1$
評点 $+ 2$
1 ~ 150位の間に位置する

医療指標

(医療の水準等を診断する指標)

例)

救急告示病院における救急体制の場合

専門病床 10床	…………… 3点
待機体制 医師 1名、 看護師 2名常時当直	…………… 4点
施設整備 救急専用処置室、手術室 及び自動車を整備	…………… 2点

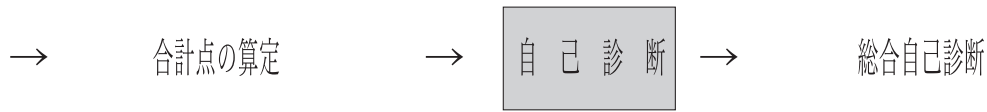
指標の算出

(参照 P 130 ~ 131)

計 9点・・・ Bランク

参照 P - 151
「救急告示 B」
評点 $+ 1$
151 ~ 300位の間に位置する

診断表活用例



(参照) P 122

評価結果 (評点表)

1 経常収支比率 ←

～

34 患者100人当たり他会計繰入金
34項目の評点を合計・調整
+ 10 点

(参照) P 123

評価結果 (評点表)

1 経常収支比率変化率 ←

～

34 患者100人当たり他会計繰入金変化率
28項目の評点を合計
- 4 点

(参照) P 124

評価結果 (評点表)

1 患者100人当たり施設面積
～
14救急告示 ←
～
24土曜診療
23項目の評点を合計
+ 13 点

↓

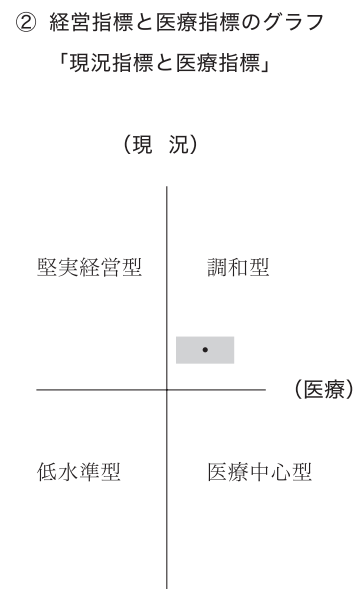
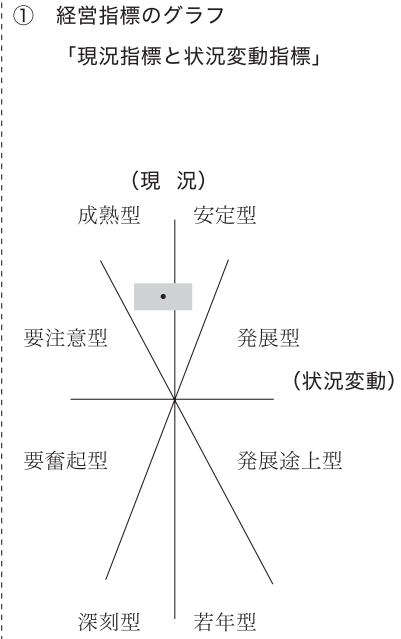
現況指標と状況変動指標

① 評点がプラスであれば
おおむね良好な状態
0点は平均的な水準

② マイナス点は低い水準
改善に向けての努力が
必要

③ 全病院における相対的
な順位を把握

④ 状況変動指標は、現況
指標の水準を考慮して
判断することが必要



現況指標と状況変動指標
及び現況指標と医療指標
の関係を2つのグラフに
表し、3つの指標の関連
を総合的に把握